



国土交通省 関東地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau



国立研究開発法人 港湾空港技術研究所

Port and Airport Research Institute

平成 27年11月11日(水)
国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部
国立研究開発法人 港湾空港技術研究所

記者発表資料

「水中音響映像システム」および「ホバリング型AUV」
の現地公開実験・講演会を行います

— 次世代海洋資源調査技術（海のジパング計画）への取り組み —

関東地方整備局と国立研究開発法人港湾空港技術研究所は、関東地方整備局の山内ケーソンヤードにおいて、「水中音響映像システム」および「ホバリング型AUV」の現地公開実験及び講演会を実施します。

「水中音響映像システム」

- 国立研究開発法人港湾空港技術研究所が研究開発中の
視界不良時に不可欠な超音波を利用した水中音響ビデオカメラと映像処理システム

「ホバリング型AUV」

- 国立研究開発法人海上技術安全研究所が研究開発中の
海底を効率的に探査する自律型無人潜水機

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会・横浜海事記者クラブ
神奈川県政記者クラブ・横須賀市政記者クラブ

問い合わせ先

関東地方整備局 港湾空港部

海洋環境・技術課

課

長 竹内 孝之

課長補佐 中川 大

電話 045-211-7420 FAX 045-211-0204

国立研究開発法人 港湾空港技術研究所

企画管理部 企画課

研究計画官 山本 泰司

課長補佐 吉田 行秀

電話 046-844-5040 FAX 046-844-5072

1. 概要

国立研究開発法人港湾空港技術研究所では、来春に統合予定の国立研究開発法人海上技術安全研究所と連携し、「日本再興戦略(成長戦略)」(H25.6閣議決定)等に基づき、「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP※1)」の対象課題となる「次世代海洋資源調査技術(海のジパング計画)※2」に参画しているところです。

この一環として、港湾空港技術研究所では、視界不良時における海底探査作業に不可欠となる「水中音響映像システム」の研究開発をH26年度から本格的に開始しています。また海上技術安全研究所では、広範囲の海底を効率的に探査する「ホバリング型AUV※3等」の研究開発を行っているところです。

今般、関東地方整備局では、本研究開発の成果の実用化と普及が促進されることを期待して、当局のケーソンヤードを活用し、現地公開実験及び現地講演会を実施します。

2. 日時 平成27年11月25日(水) 13:00~15:10(受付は11:45開始)

3. 場所 関東地方整備局京浜港湾事務所 京浜港ケーソンヤード
所在地:横浜市神奈川区山内町1-2

4. 主催 国土交通省 関東地方整備局
国立研究開発法人 港湾空港技術研究所
公益社団法人 土木学会建設用ロボット委員会
共催 国立研究開発法人 海上技術安全研究所

5. 公開実験・講演会

1)水中音響映像システム実験(水中で作業中の建設機械を音響ビデオカメラで撮影、同映像を解説。)及びホバリング型AUVの潜航デモンストレーション

2)SIP講演会

浦辺 徹郎(SIP次世代海洋資源調査技術・プログラムディレクター)

浦 環(同サブ・プログラムディレクター)

泉 信也(土木学会建設用ロボット委員会)

6. 展示

海洋調査、港湾・海洋開発にかかる機材とパネル

7. その他

1)参加の申し込みについて(定員250名程度)

参加をご希望される方は、平成27年11月18日(水)17:00までに所定の参加申込書を用い、Mailでお申し込み下さい。

なお、申し込み定員を超えた場合はご参加できないことがあります。定員に達したとき

は港湾空港技術研究所のホームページ(<http://www.pari.go.jp/>)に掲載します。

2)取材申込みについて

取材をご希望される報道関係者の方は、平成27年11月18日(水)17:00までに所定の取材申込書を用い、FAX または Mail でお申し込み下さい。

※1 S I P:Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program

「戦略的イノベーション創造プログラム」

※2 次世代海洋資源調査技術(海のジパング計画)【参考資料を参照】

:SIP の対象課題の一つ。銅、亜鉛、レアメタル等を含む、海底熱水鉱床、コバルトリッチクラスト等の海洋資源を高効率に調査する技術を世界に先駆けて確立し、海洋資源調査産業を創出することを目的としている。

※3 AUV:autonomous underwater vehicle 「自律型無人潜水機」

次世代海洋資源調査技術

目的 銅、亜鉛、レアメタル等を含む、海底熱水鉱床、コバルトリッチクラスト等の海洋資源を高効率に調査する技術を世界に先駆けて確立し、海洋資源調査産業を創出する。

対象機関 公的研究機関、民間企業等 管理法人：JAMSTEC

実施期間 5年間(予定)

予算規模 2014年度：61.6億円、2015年度：57億円（総合科学技術・イノベーション会議が研究開発の進捗や有効性等について毎年度評価を行い、配分額を決定する。）

1. 目標

海洋鉱物資源を低コストかつ高効率(従来の数倍以上のスピード)で調査する技術を、世界に先駆けて実現する。資源が眠る深海域において使用可能な未踏海域調査技術確立する。

2. 主な研究内容

- ①海洋資源の成因に関する科学研究
- ②海洋資源調査技術の開発
- ③生態系の実態調査と長期監視技術の開発

3. 出口戦略

競争力のある技術を産官学一体で開発、技術ノウハウを民間企業に移転し、海洋資源調査産業の創出。また、グローバルスタンダードを確立し、海外での調査案件受注など海外へ展開する。

4. 仕組み改革・意識改革への寄与

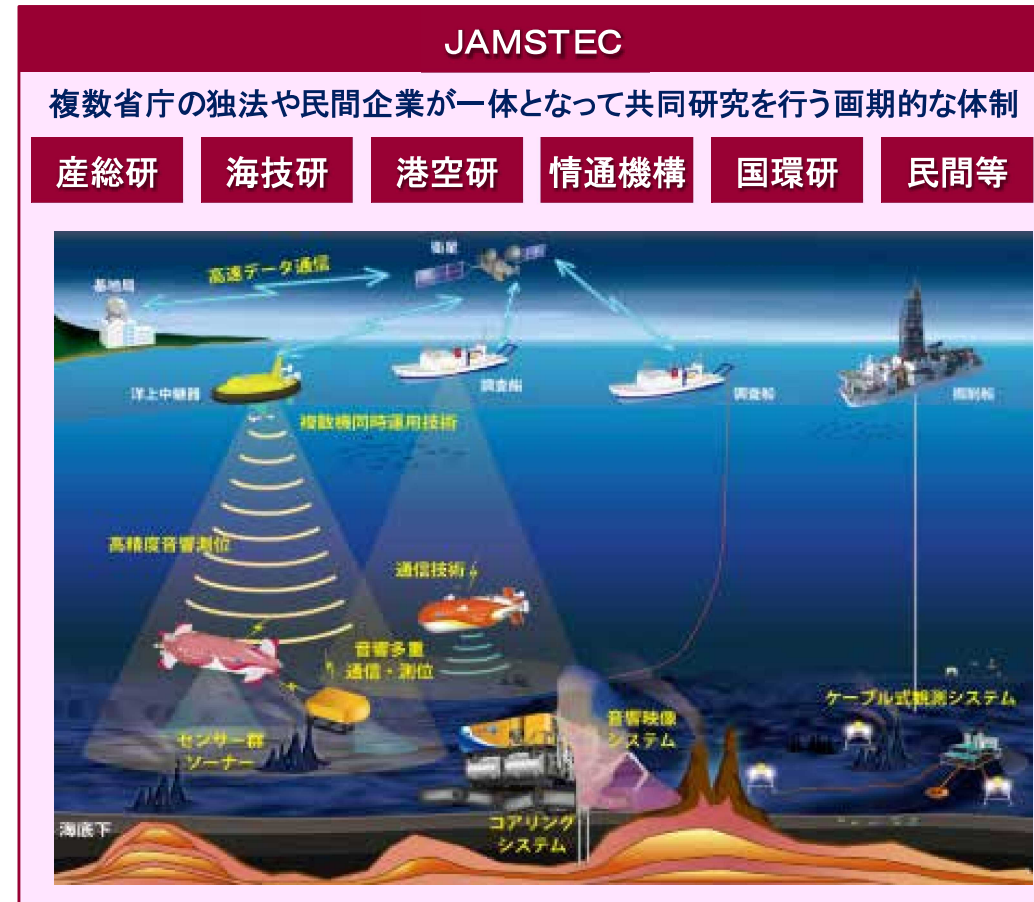
サブPDとして、大学、JAMSTEC*1、JOGMEC*2から有識者を迎え、JAMSTECが産業技術総合研究所、海上技術安全研究所、港湾空港技術研究所、情報通信研究機構、国立環境研究所、民間企業等と一体的に共同研究を実施する画期的な体制を構築。

*1 海洋研究開発機構、*2 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

5. プログラムディレクター

浦辺徹郎 東京大学名誉教授、国際資源開発研修センター顧問

構築する体制のイメージ



海洋資源調査産業を国内外に展開

《現地案内図》



(所在地：横浜市神奈川区山内町 1-2)

《会場へのアクセス》

マイクロバス 【主催者運行】	横浜駅東口から会場までマイクロバスを運行します。 集合場所：横浜駅東口駅前広場（中央郵便局北東側、ルミネ前） 運行時間：11時40分～12時40分（別紙「乗り場案内」をご覧ください）
路線バス	横浜駅前（東口のりば）（スカイビル側）のバスターミナル4番乗り場から、横浜市営バス48系統「コットンハーバー経由横浜駅前行き」乗車、「中央市場前」バス停下車、徒歩2分。（10時から13時の運行時間は約30分間隔）
タクシー	横浜駅東口（そごう側）タクシー乗り場から約10分（交通状況によります）。
徒歩	京急本線「神奈川駅」から徒歩約15分

※会場および周辺に駐車場は用意しておりません。自家用車でのご来場はお控えください。

《注意事項》

- ✓ マイクロバスは先着順としていますので、乗車希望者が多い場合乗れない場合があります。ご希望に添えない場合は、事務局から連絡させていただきます。
- ✓ マイクロバスは11時40分から運行を開始します。お早めに、別紙「乗り場案内」の集合場所へお越しください。
- ✓ 強風、大雨などの荒天時は中止とします。中止の場合は、前日17時までに港湾空港技術研究所ホームページ（<http://www.pari.go.jp/>）に掲載します。
- ✓ 11月25日中止の場合は、翌日13:00から「水中音響ビデオカメラ本体、水中建設機械の見学・説明会」のみを開催します。また、マイクロバスは運行しませんのでご了承願います。
- ✓ 現地公開実験を行う現地は海に面しており、風が強く体感温度が寒く感じられる場合もありますので、各自防寒対策をとってください。
- ✓ ヘルメット、安全靴などは必要ありませんが、段差のある場所がございますので、お足元には十分ご注意下さい。

マイクロバス乗り場（集合場所）案内

集合場所： 横浜駅東口 駅前広場（中央郵便局北東側、ルミネ前）

※横浜駅東口（中央）から右手（ポルタ入り口階段手前より）に進み（下記写真参照）、広場に出る階段を上がった付近

運行時間： 2015年11月25日（水） 11時40分～12時40分（5～15分間隔）

運行経路： 横浜駅東口 駅前広場前 → 公開実験会場入り口付近

集合場所



背景地図: © OpenStreetMap contributors



横浜駅東口（中央）「駅前広場」案内表示

「水中音響映像システム」および「ホバリング型 AUV」
の現地公開実験・講演会
(2015年11月25日)

参加申し込み

横浜駅からマイクロバス乗車希望の方は「○」と記入

ご氏名	ご所属	ご連絡先* (E-メールアドレスまたは電話番号)	バス

* 所属先が同じ場合、ご連絡先は代表の方のみで結構です。

【申し込み先】港湾空港技術研究所 企画管理部 企画課

Eメール：kikaku@ipc.pari.go.jp FAX：046-844-5072

【申し込み期限】11月18日（水）17:00

※ご提供いただいた個人情報は、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律にのっとり、本件に関するご連絡のみに利用し、厳正な管理により取り扱います。

取材申込書

※11/18（水）17：00までにお申し込みください

国立研究開発法人 港湾空港技術研究所

企画管理部 企画課 宛

FAX番号：046-844-5072

E-mail：kikaku@ipc.pari.go.jp

（11/25 「水中音響映像システム」および「ホバリング型AUV」
の現地公開実験・講演会における取材）

報道機関名	
所属記者クラブ	
担当者名	
連絡先：部署等	
電話番号	
取材体制：人数	

連絡事項	
------	--

連絡事項欄は、適宜ご利用ください。

※ご提供いただいた個人情報は、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律にのっとり、本件に関するご連絡のみに利用し、厳正な管理により取り扱います。

■問い合わせ先

国立研究開発法人 港湾空港技術研究所
企画部 企画課 研究計画官 山本 泰司
課長補佐 吉田 行秀
電話 046-844-5040